

【ファーストステップFX】

Part2 トレーダーとしての レベルアップの為に

第2章 注文方法

株式会社チャートマスター

■はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリック出来ます。出来ない場合は最新の AdobeReader をダウンロードして下さい。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等する事を禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものである為、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部を如何なる手段においても複製、転載、流用、転売等する事を禁じます。

著作権等違反の行為を行なった時、その他不法行為に該当する行為を行なった時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行なう等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行なう場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行なう権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等が有りましたが、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わない事をご了承願います。

このレポートを利用する事により生じた如何なる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わない事をご了承願います。

目次

※目次の見出しをクリックすると、その見出しのページに移動します。

■ F Xの注文方法は1種類ではない.....	4
■ 成行注文.....	5
■ 指値注文.....	6
■ 逆指値注文.....	7
■ I F D注文.....	9
■ O C O注文.....	11
■ I F O注文.....	12
■ レバレッジ規制に関して.....	13

■ F Xの注文方法は1種類ではない

F Xの注文は、買い（ロング）や売り（ショート）を行なう訳ですが、注文方法には幾つかの種類があります。

「え?! 1種類じゃないの?!」

「はい! 1種類じゃないんです。」

次のページから詳しく見て行きましょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 成行注文

「成行注文（なりゆきちゅうもん）」は、最も基本的な注文方法です。成行注文とは、その時のレートで注文を出す方法になります。

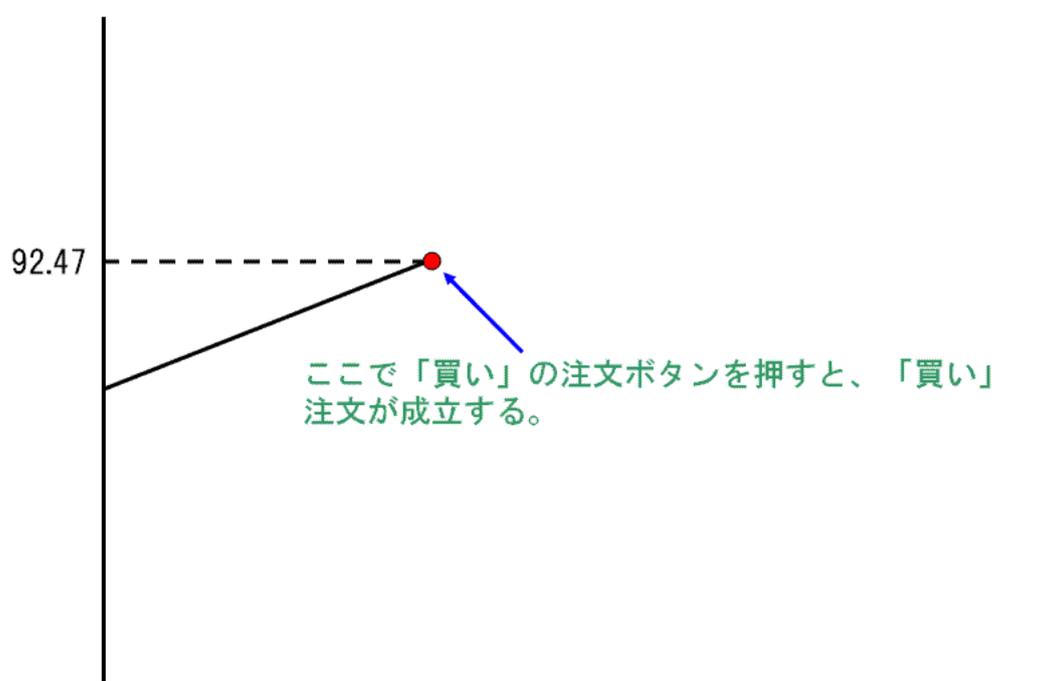
例えば、FX会社の注文画面を見ていて、ドル円（USD/JPY）のレートが、

92.45-47

と表示されていたとします。

ここで、買い（ロング）したい、または、売り（ショート）したいと思ったら、買い（ロング）、売り（ショート）を選び、注文ボタンをクリックします。

これが成行注文です。



[▲目次へ戻る▲](#)

■指値注文

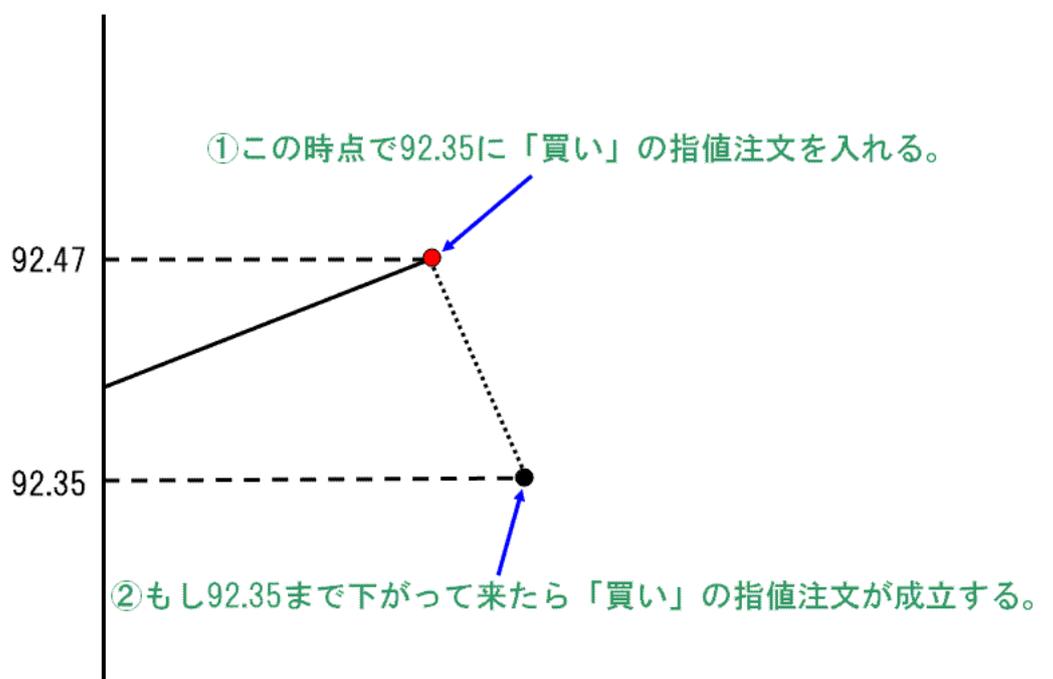
「指値注文（さしねちゅうもん）」は、自分が指定したレートになったら、注文が出される方法です。自分が好きなレートを指定する事を、指値（さしね）と呼びます。

具体的に見てみましょう。先程と同様、FX会社の注文画面を見ていた所、ドル円（USD/JPY）のレートが

92.45－47

だったとします。

もう少し安くなったら買いたい（ロングしたい）から、現在のレートの少し下、92.35 で買い（ロング）の指値を入れておく、または、値が上がって来たら売りたい（ショートしたい）から、92.60 で売り（ショート）の指値を入れておく、といった感じで、自分の好きなレートに指値を指定し、実際にそのレートまで来たら、注文が執行されます。



[▲目次へ戻る▲](#)

■ 逆指値注文

「逆指値注文（ぎやくさしねちゆうもん）」は、「トリガー注文」等とも呼ばれる事があります。トリガー（trigger）とは、銃の引き金の事です。

逆指値注文は、指値注文に良く似ています。違いは以下の通りです。

○指値注文：

ここまで安くなったら（下がったら）買いたい（ロングしたい）、または、ここまで高くなったら（上がったら）売りたい（ショートしたい）時に使う注文方法。

○逆指値注文：

ここまで安くなったら（下がったら）売りたい（ショートしたい）、ここまで高くなったら（上がったら）買いたい（ロングしたい）時に使う注文方法。

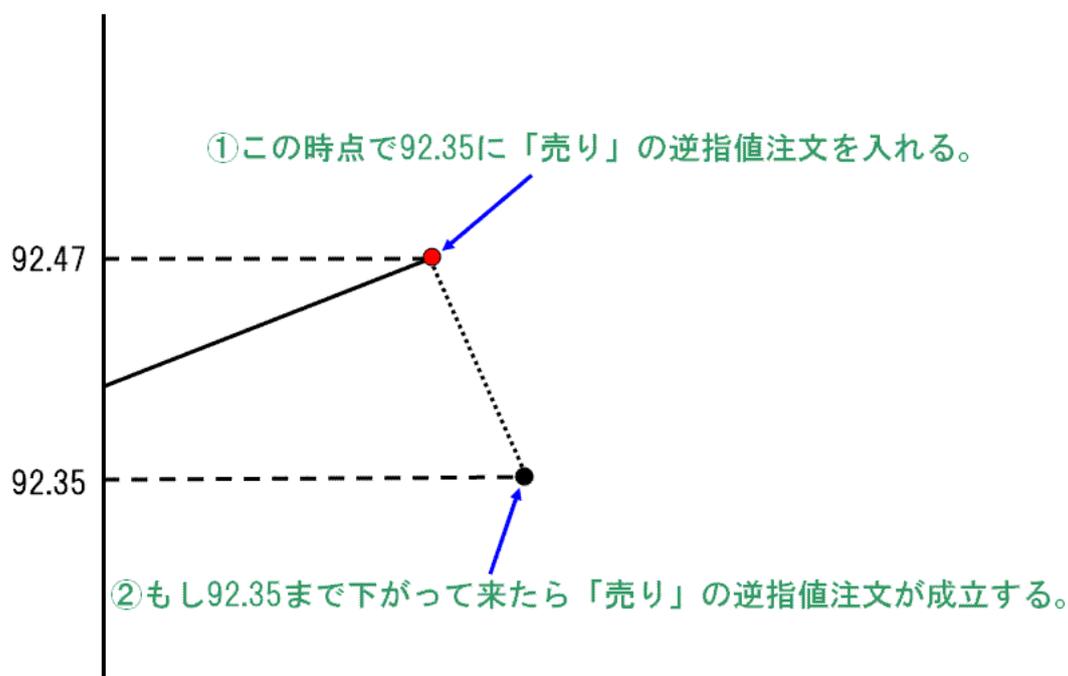
つまり、通常であれば、「安くなったら買いたい、高くなったら売りたい」という事になりますが、それとは逆に、「安くなったら売りたい、高くなったら買いたい」というのが、逆指値注文になります。

安くなったら売ったり、高くなったら買ったり、そんな事をする事があるの?!、と思われるかも知れませんが、実際、そういう事があります。

例えば、相場の勢いに乗りたい!、といった場合に、逆指値をしておき、そこまで上がって来たら買う（ロングする）、あるいは、そこまで下がって来たら売る（ショートする）、という事があります。

また、よく使われ、とても重要なのは、ポジションを持っていて、自分が思った方向と逆に値が動き、それ以上、損をしては困る、といった場合の為に、決済の逆指値注文を入れておくのです。

この、それ以上、損をしては困る、損失が拡大するのを止めよう、という事で決済する事を「損切り（ストップロス、ロスカット）」と言います。



[▲目次へ戻る▲](#)

■ I F D注文

「IFD注文（アイエフディーちゅうもん）」とは、「If Done注文（イフダンちゅうもん）」とも呼ばれます。「If Done」とは、「もし注文が成立したら」の意です。

つまり、IFD注文とは、ある指値注文、または、ある逆指値注文が成立したら、もう1つ、指値注文、または、逆指値注文が出されるようにする注文方法です。

具体的に見てみましょう。

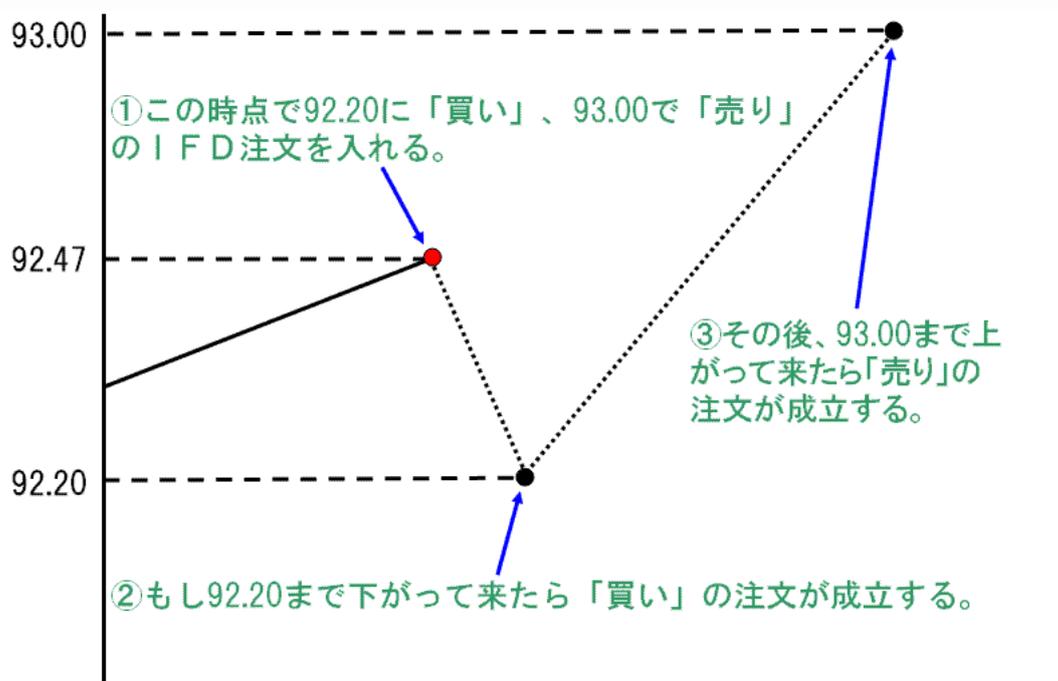
F X会社の注文画面を見ていた所、ドル円（USD/JPY）のレートが

92.45－47

だったとします。

例えば、この時に、92.20 に下がったら買い（ロングし）、更に、93.00 になったら利益確定（「利確（りかく）」、「利食い（りくい、りぐい）」とも呼びます。）の指値注文を出す、といった2つの注文を同時に出す事がIFD注文で出来る訳です。

また、同じレートで、92.20 に下がったら買い（ロングし）、更に、91.70 になったら損切りの逆指値注文を出す、といった事もIFD注文では可能です。



[▲目次へ戻る▲](#)

OCO注文

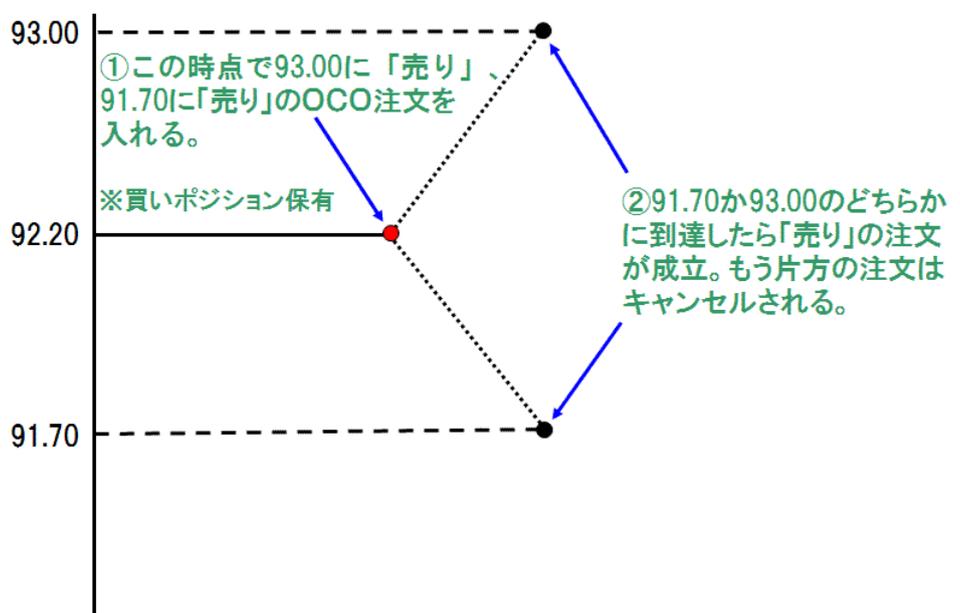
「OCO注文（オーシーオーちゅうもん）」のOCOとは、「One Cancel the Other」の事で、「片方が成立したら、もう一方は取り消し」という意味になります。

つまり、OCO注文は、新規注文やポジションを持っている際に、リミットとストップロス等、2つの注文を同時に出す事が出来ます。リミットとは、利益確定の指値の事を指します。具体的に見てみましょう。

今、ドル円（USD/JPY）の買い（ロング）ポジションを92.20で持っているとします。

この時、93.00まで上がったなら利食いし、逆に、91.70まで下がったら損切りしたい、といった場合、利食いの指値注文と損切りの逆指値注文の2つの注文をOCO注文で同時に出す事が出来ます。

更に、その指値注文、逆指値注文のどちらかが約定されると、残った方の注文が取り消される、キャンセルされる、という訳です。



[▲目次へ戻る▲](#)

■ I F O 注文

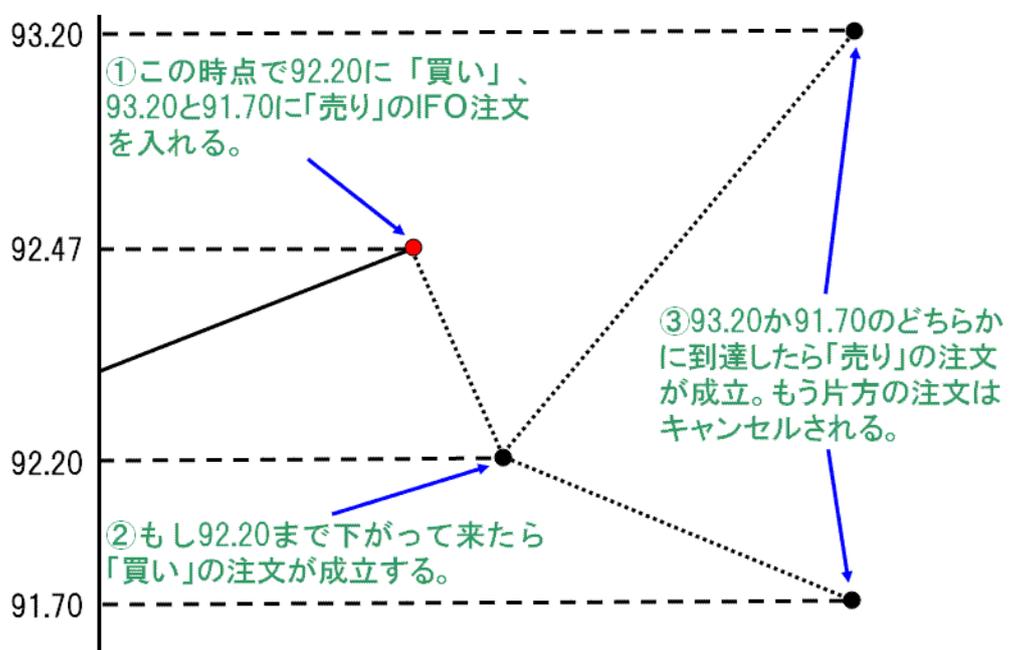
「IFO 注文 (アイエフオーちゅうもん)」は、「IFD-OCO 注文」等とも呼ばれます。ここからも分かる通り、IFO 注文は、IFD 注文と OCO 注文を組み合わせた注文方法になります。

FX会社の注文画面を見ていた所、ドル円 (USD/JPY) のレートが

92.45-47

だったとします。

例えば、この時、92.20 に下がったら買い (ロングし)、93.20 になったら利食い、更に、91.70 になったら損切り、といった、エントリーの指値注文、リミットの指値注文、ストップロスの逆指値注文の3つを同時に出す事が出来るのが、IFO 注文になります。



[▲目次へ戻る▲](#)

■レバレッジ規制に関して

注文方法について説明して来ましたので、実際に注文を行なう為に、1点注意事項をお伝えしておきます。

それは、「**レバレッジ規制**」と呼ばれる規制についてです。

レバレッジ規制という言葉聞いた事がありますでしょうか？

レバレッジ規制とは、どんな規制なのでしょう？

レバレッジ規制とは、数百倍という高レバレッジのFX取引について、

①**顧客保護**（ロスカットルールが十分に機能せず、顧客が不測の損害を被る恐れ）

②**業者のリスク管理**（顧客の損失が証拠金を上回る事により、業者の財務の健全性に影響が出る恐れ）

③**過当投機**

の点から問題がある、と金融庁が判断した事により、レバレッジについて、

●2010（平成22）年8月1日より、レバレッジの上限を50倍に制限

●2011（平成23）年8月1日より、レバレッジの上限を25倍に制限

するというものです。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.fsa.go.jp/news/20/syouken/20090529-3.html>

簡単に言ってしまうと、【今までと同じ取引量で取引しようと思った場合に、今までより多くの証拠金が必要になる】という事なのです。

例えば、あるFX会社において、そのFX会社がレバレッジ200倍でドル円1万通貨の取引に5,000円の証拠金が必要だったとしましょう。

今までレバレッジ 200 倍であったのが、2010（平成 22）年 8 月 1 日以降、上限ギリギリとは言え、レバレッジ 50 倍になってしまうと、単純計算で今までの証拠金の 4 倍である 20,000 円が必要になって来ます。

更に、2011（平成 23）年 8 月 1 日以降、レバレッジ 25 倍になってしまうと、従来は 5,000 円で良かった証拠金が、40,000 円も必要になって来るのです。

少額資金で始められるのが F X の 1 つの魅力であったのですが、決まってしまったものは仕方ありません。。。

対策が無いわけではなく、今でもレバレッジ規制を受けずにトレードを行える F X 会社は存在します。

簡単に言うと、

【海外の F X 会社の口座で F X 取引をする】

というものです。

「海外の F X 会社・・・?!」と少し不安を感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、今は日本人のスタッフがいる会社も多数ありますので、

「レバレッジをかけてトレードがしたい！」

という方は海外の F X 会社も検討してみてください。

[▲目次へ戻る▲](#)

「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「

株式会社チャートマスター

〒117-0045

東京都練馬区石神井台2-4-21

E-mail : info@chart-ma.com

「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「

Part2 トレーダーとしてのレベルアップの為に
第2章 注文方法
株式会社チャートマスター